

NS-22M2 取扱説明書

屋内専用



法的免責

●お客様は、本製品をすべての適用される法律に準拠して使用することに同意し、お客様の使用が適用される法律に準拠していることを保証する全責任を負います。特に、貴社は、本製品を第三者の権利を侵害しない方法で使用する責任を負います。これには、制限なしに、公開権、知的財産権、またはデータ保護およびその他のプライバシー権が含まれます。お客様は、大量破壊の武器の開発または生産、化学的または生物学的武器の開発または生産、核爆発または安全でない核フルーサイクルに関連するコンテキスト内の活動、または人権侵害のサポートなど、禁止されている最終用途に本製品を使用してはなりません。

目次

1. 導入	5
2. デバイスインターフェイス	6
3. パネルキー	6
4. 基本操作	7

規制に関する情報

FCC 情報

適合する責任者によって明示的に承認されていない変更や修正を行うと、装置を操作するユーザーの権限が無効になる場合があることに注意してください。

FCC 準拠：この装置は、FCC 規則のパート 15 に従い、クラス A デジタル装置の制限に準拠することがテストで確認されています。これらの制限は、本装置を商業地域で運用する場合に限り、電波障害に対する適切な保護措置が行われるように設計されています。本装置は電波エネルギーを発生、使用、放射し、ユーザーズマニュアルに従って設置、使用しない場合は無線装置に干渉する可能性もあります。

この装置を住宅地で使用すると、有害な干渉が発生する可能性があります。その場合、ユーザは自己負担で干渉を修正する必要があります

FCC 条件

本装置は、FCC 規制のパート 15 に適合しています。運用は、以下の二つの条件に依存します。

1. 本装置が有害な干渉を引き起こさないこと。
2. このデバイスが、望ましくない操作の原因となる妨害を含め、被った妨害を受け入れる必要があること

EU 適合性宣言

本製品および(該当する場合)付属品には「CE」マーク  が付いているため、EMC 指令 2014/30/EU、LVD 指令 2014/35/EU、ROHS 指令 2011/65/EU の下に記載された、適用される統一された欧州規格に準拠しています。

2012/19  (WEEE 指令):

この記号  が付いている製品は、欧州連合で未分別の自治体廃棄物として処理することはできません。適切にリサイクルするには、同等の新しい装置を購入したときにこの製品を最寄りのサプライヤに返却するか、指定された回収場所で廃棄してください。詳細については、www.recyclethis.info を参照してください

2006/66/EC (バッテリー指令):

 この製品には、EU 域内の一般廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。

バッテリーの詳細については、製品のマニュアルを参照してください。

バッテリーにはこのマークが付いています。このマークには、カドミウム (Cd)、鉛 (Pb)、または水銀 (Hg) を示す文字が含まれています。適切にリサイクルするには、バッテリーをサプライヤまたは指定された収集ポイントに返却してください。詳細については、www.recyclethis.info を参照してください

カナダ産業省 ICES-003 準拠

このデバイスは、CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A) の規格要件を満たしています。

対応機種

このマニュアルは、モデル：モニターに適用されます。

記号の表記規則

本書で使用されている記号は、次のように定義されています。



本文の重要な点を強調または補足するための追加情報を提供します。

安全上の注意

- ・すべてのパスワードとその他のセキュリティ設定を適切に設定することは、インストーラまたはエンドユーザの責任です。
- ・製品の使用にあたっては、国および地域の電気安全規定に厳密に準拠する必要があります。詳細については技術仕様書を参照してください。
- ・入力電圧は SELV (安全特別低電圧) および制限の両方を満たす必要があります IEC60950-1 規格に従う、100 ~ 240 VAC または 12 VDC の電源。詳細については技術仕様書を参照してください。
- ・1つの電源アダプタに複数のデバイスを接続しないでください。アダプタが過負荷になると、過熱や火災の危険があります。
- ・プラグが電源ソケットにしっかりと接続されていることを確認してください。
- ・機器から発煙、異臭、異音などが発生した場合は、一度に電源を切り、電源ケーブルを抜いてから、サービスセンターに連絡してください。
- ・装置の主電源プラグを切断装置として使用し、ソケットコンセントを装置の近くに設置し、容易にアクセスできるようにします。

注意：

機械全体の前傾は使用上推奨しません。前傾の必要がある場合は、前傾角度が 5 度を超えないようにすることをお勧めします。

【1. 導入】

1.1 主な機能

- ・ 1920 × 1080 FHD 表示に対応
- ・ ユーザーフレンドリーな操作メニュー
- ・ 異なる環境に適応する 3 つの画像モード、
- ・ 1 チャンネル HDMI 1.3 入力インターフェイス
- ・ EMI radiation を削減するソフトウェアスペクトル拡散技術をサポート
- ・ 待機時消費電力 0.5W 以下
- ・ 視野角 : 水平 178° 、垂直 178°

1.2 電源の接続

付属の 12VDC アダプターを 100V のコンセントに接続します。

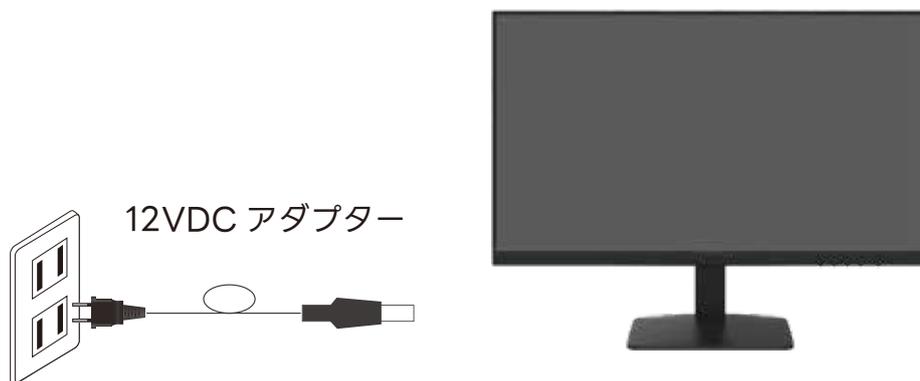


図 1.1 電源入力

モニターを長期間使用しない場合は、モニターの「POWER」スイッチをオフにして、アダプタープラグをコンセントから抜いてください。

【2. デバイスインターフェイス】

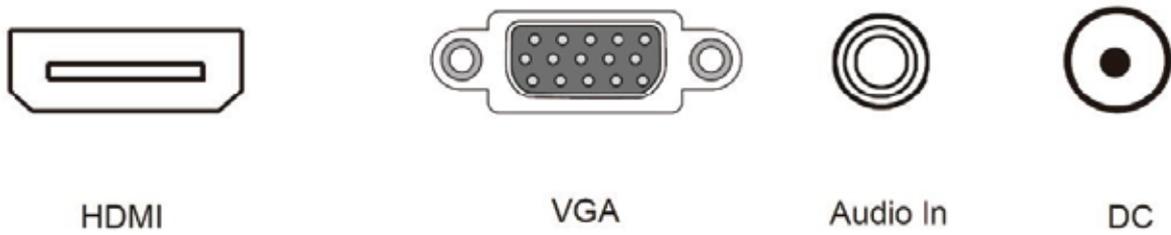


図 2.1 デバイスの背面パネル

インターフェイス

HDMI 入力	HDMI デジタル信号入力の場合
VGA 入力	VGA アナログ信号入力
Audio In	オーディオ入力(オプション)
DC IN	電源入力

【3. パネルキー】

ディスプレイユニットパネルの右下隅にあるキーは、ディスプレイユニットの図 3.1 キーに示されています。



本書では右記 の通りです。	[1] = 1
	◀ = <
	▶ = >
	[2] = 2

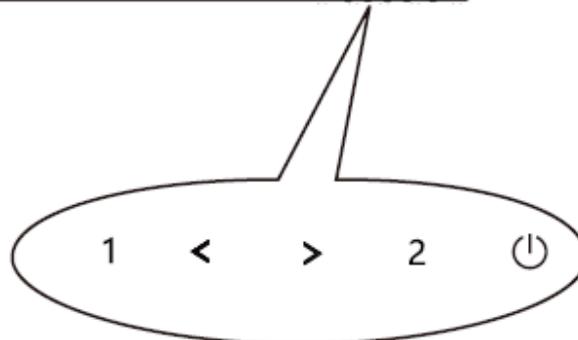


図 3.1 ディスプレイユニットのキー

ディスプレイユニットの右下隅にあるキーの機能は、状況によって異なります。

【4. 基本操作】

4.1 入力ソースの選択

電源が入っていて、入力ソースが確定したら、表示ユニットの電源を入れます。

送信機の◀ボタンを押すと、下記のような画面が表示されます。モニターには HDMI および VGA 信号として 2 つの入力ソースがあります。方向キーを押して入力ソースを選択し、[1] を押して入力ソースの選択を完了します。



図 4.1 入力ソース

4.2 輝度

送信機の▶ボタンを押すと、右記のような画面が表示されます。◀または▶を押して、明るさを調整します。[1] を押して調整を終了します。

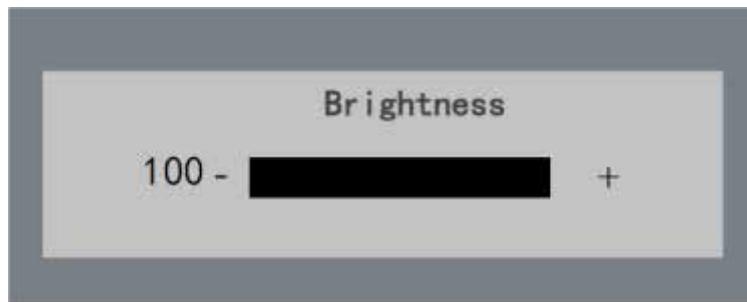


図 4.2 輝度

4.3 自動調整

電源が入っていて、入力ソースが確定したら、表示ユニットの電源を入れます。
[2] を押して、右のようなメニューにします (In VGA Signal)。



図 4.3 入力ソース

4.4 メインメニュー

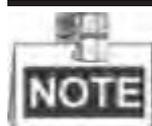
4.4.1 画像設定

目的:

画像モードを切り替えて画像パラメータを調整したり、コントラスト、輝度、色温度、自動調整、色調整の値を調整したりできます。

手順:

1. 下に示すように、[1] を押してメインメニューインターフェイスに入ります。
2. [1] を押して、希望の設定に入ります。
3. ◀ または ▶ を押して、数値を調整します。コントラスト、明るさ、色温度、その他のパラメータの調整に適用されます。



コントラスト、輝度:◀または▶を押してコントラストを設定します。レンジは0～100の間で変化します。色温度:◀または▶を押して、必要な色温度を設定します。
灰色は、現在のモードまたは入力ソースの状態では調整できないことを示し、黄色は調整可能であることを示します。

4. 調整が完了したら、[2] を押してメインメニューに戻ります。

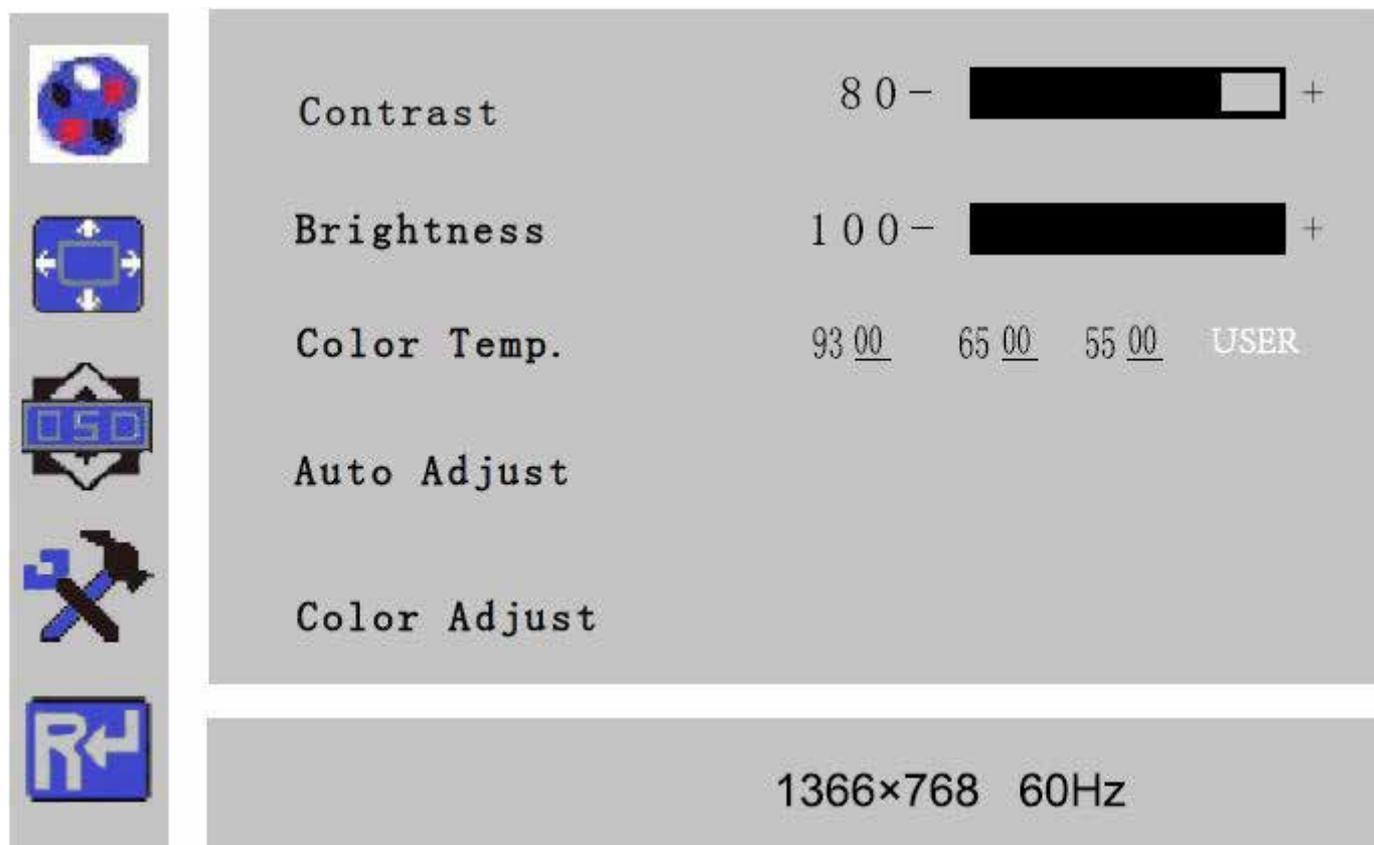


図 4.4.1 画像設定

4.4.2 画像設定

入力ソースが選択されている場合、VGA パラメータを調整することができます。VGA H 位置、V 位置、クロック、位相を調整します。

手順：

1. メニューキーを押して、メインメニューインターフェイスに入ります。
2. ◀を押して、VGA パラメータ設定インターフェイスに入ります。
(自動調整を選択し、◀または ▶を押してVGA パラメータを自動的に調整するか、手動で調整します)
3. H 位置を選択し、◀ または ▶ を押して H 位置を調整します
4. V 位置を選択し、◀または▶を押して V 位置を調整します。
5. 時計を選択し、◀または▶ を押して時計を調整します。
6. フェーズを選択し、◀または▶を押してフェーズを調整します。



調整範囲は 0 ~ 100 の間で変化します。

7. 調整が完了したら、[1] を押してメインメニューに戻ります。

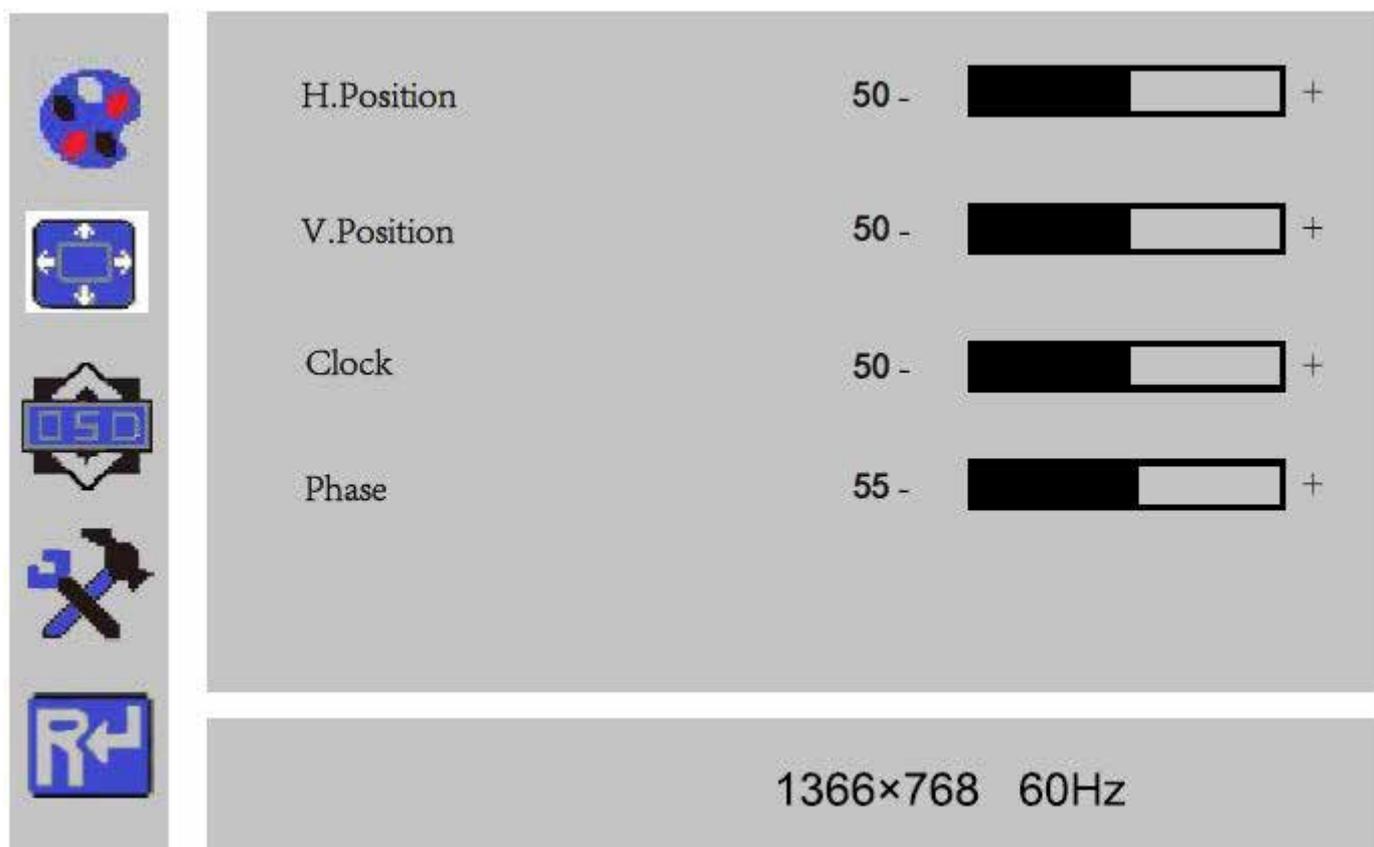


図 4.4.2 画像調整

4.4.3 OSD 設定

メニューの言語、ブレンド、OSD 継続時間を設定できます。

手順：

- 1.[1] を押して、メインメニューインターフェイスに入ります。
- 2.◀を 2 回押し、[1] を押して [言語] インターフェイスに入り、◀または▶を押して目的の言語を切り替えます。
- 3.OSD H.Pos/OSD V.Pos を選択し、◀または▶で OSD の位置を調整します。
- 4.OSD タイマーを選択し、◀または▶で OSD 持続時間を調整します :5Sec ~ 60Sec。
5. 透明度を選択し◀または▶で透明度を調整します。
6. 調整が完了したら、[2] を押してメインメニューに戻ります。

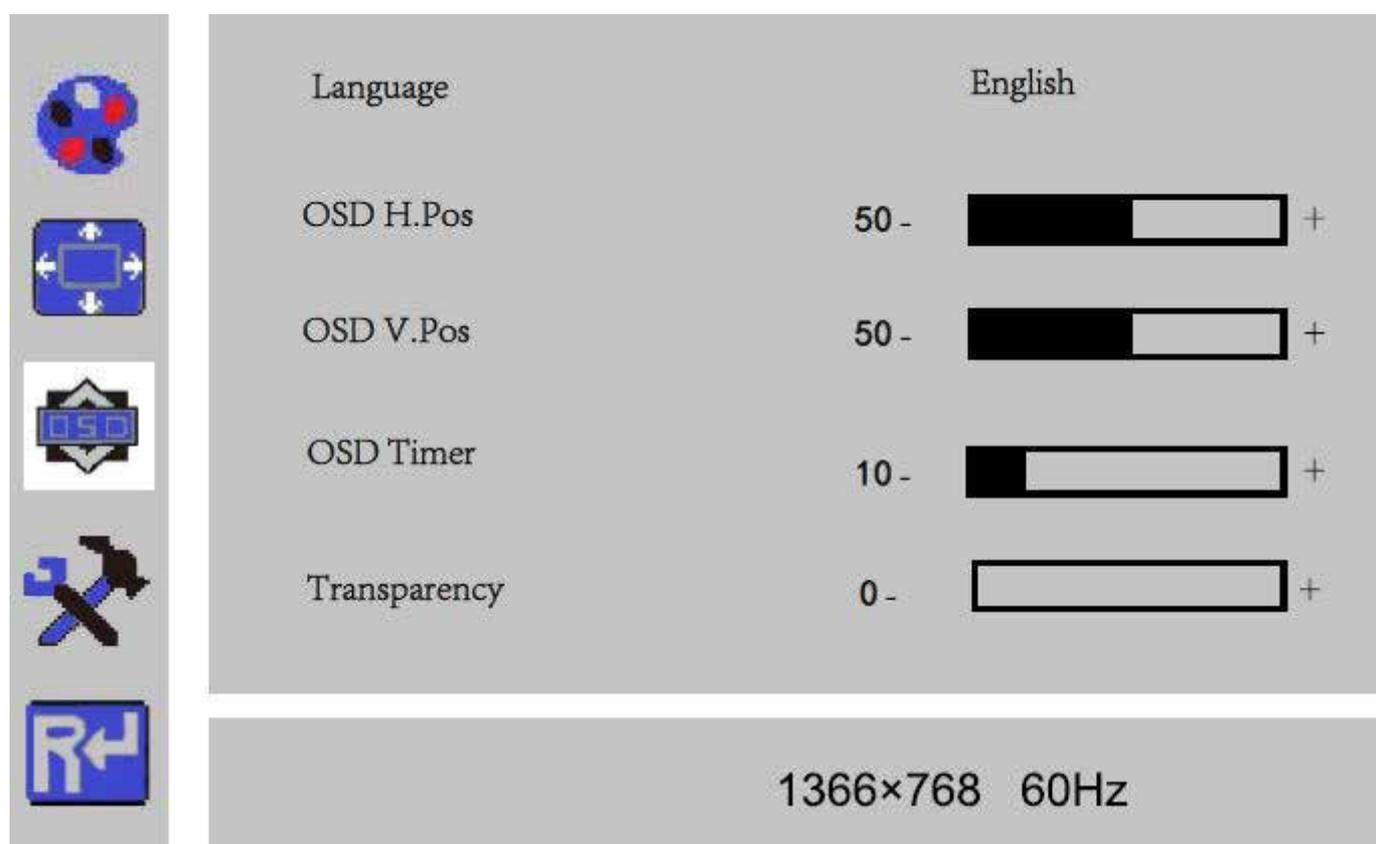


図 4.4.3 OSD 設定

4.4.4 その他の設定

目的：

Mode、Audio Volume、Signal Source、Aspect Ratio、DCR を設定できます。

手順：

- 1.[1] を押して、メインメニューインターフェイスに入ります。
- 2.triple◀を押し、[1] を押してモードインターフェイスに入り、◀ または ▶ を押してモードを PC/GAME/MOVIE に切り替えます。
- 3.◀または▶を押して、音声音量を 0 ~ 100(オプション) の範囲で調整します。
- 4.◀または▶を押して、信号源を VGA と HDMI の間で変更します。
- 5.◀または▶を押して、縦横比を 16:9/AUTO/4:3 に切り替えます。
- 6.◀または▶ を押して、DCR のオン / オフを切り替えます。
- 7.調整が完了したら、[1] を押してメインメニューに戻ります。

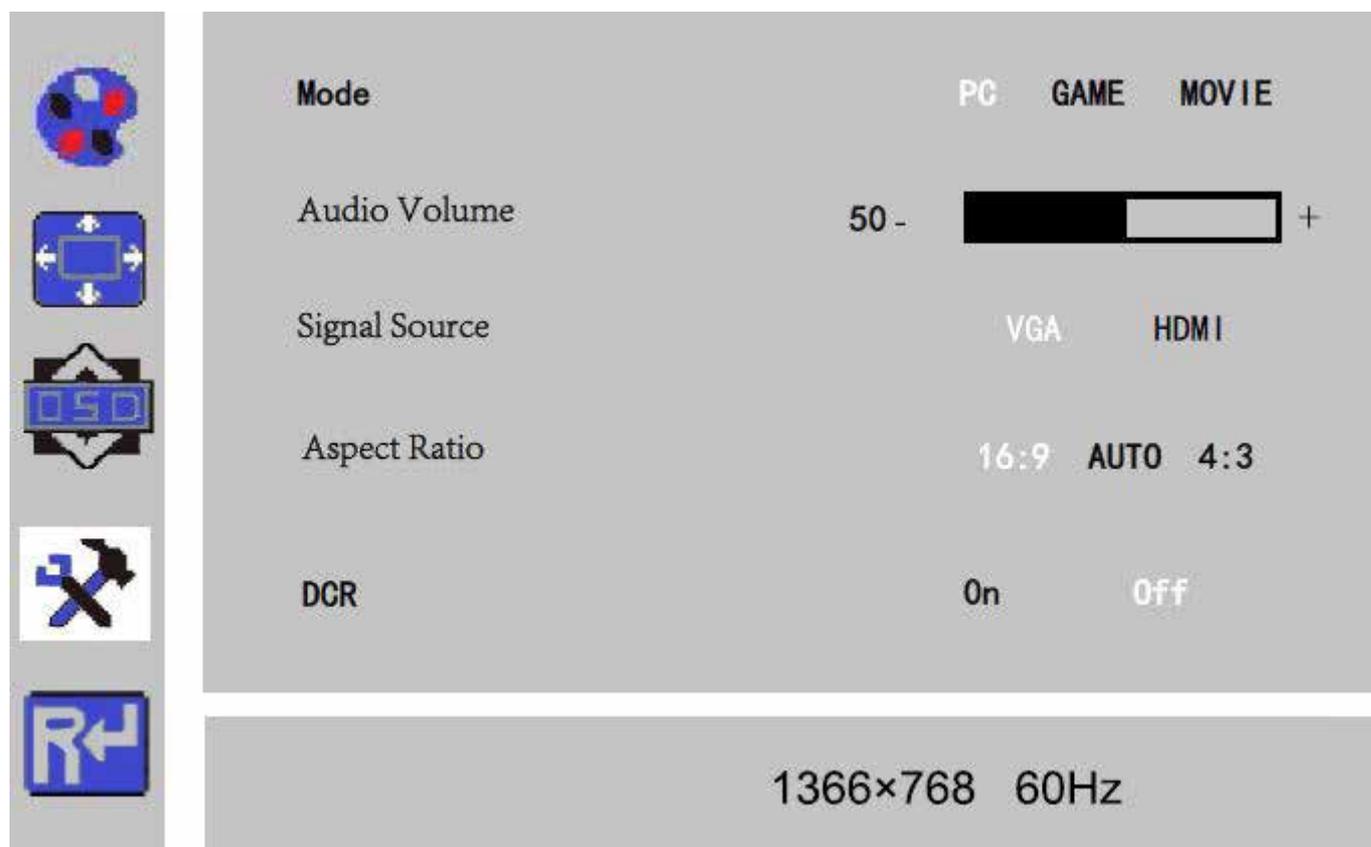


Figure4.4.4 その他の設定

4.4.5 設定リセット

目的：

設定を工場出荷時のデフォルトにリセットできます。

手順：

1.[1] を押して、メインメニューインターフェイスに入ります。

2.◀を 4 回押し、[1] を押すと、設定が初期値に戻ります。

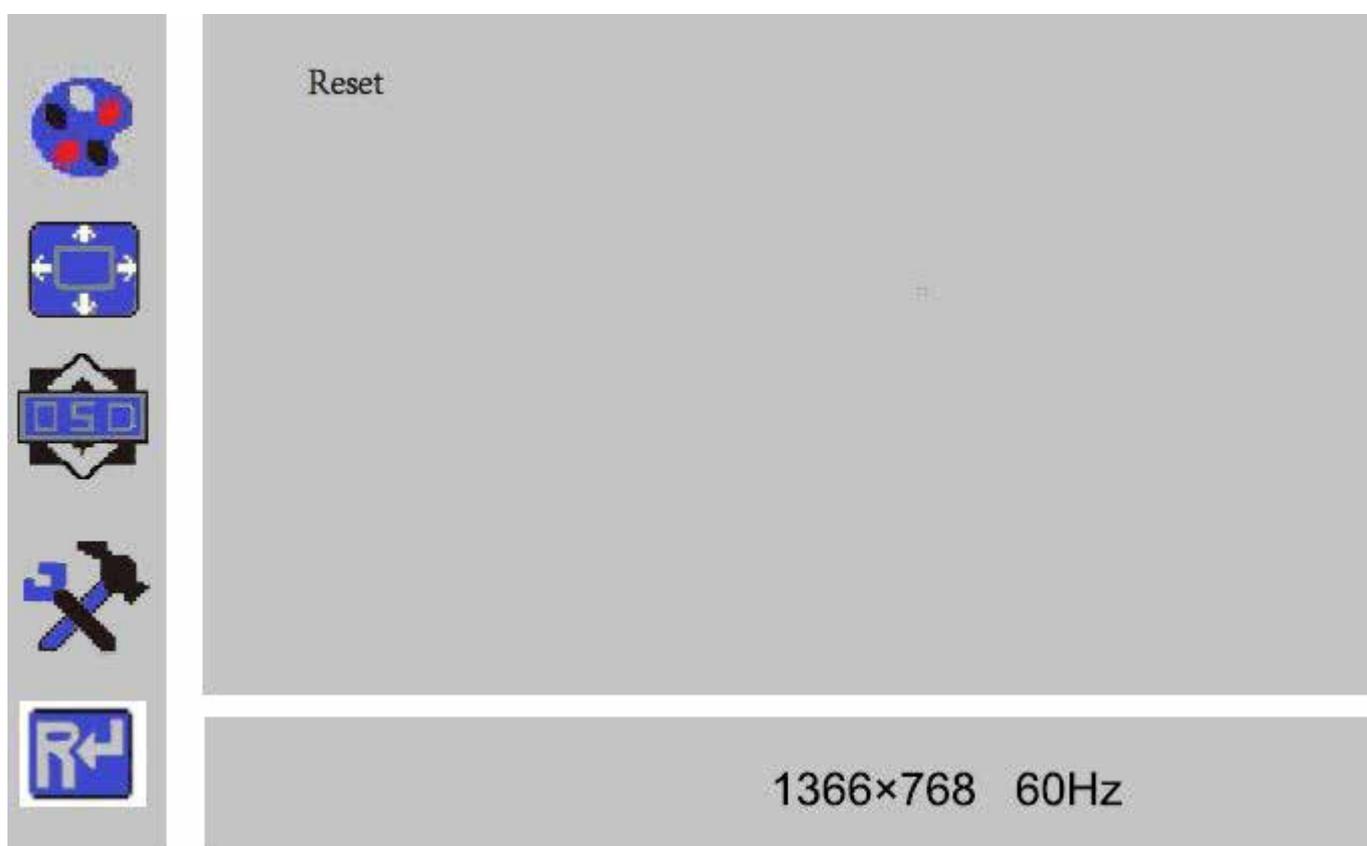
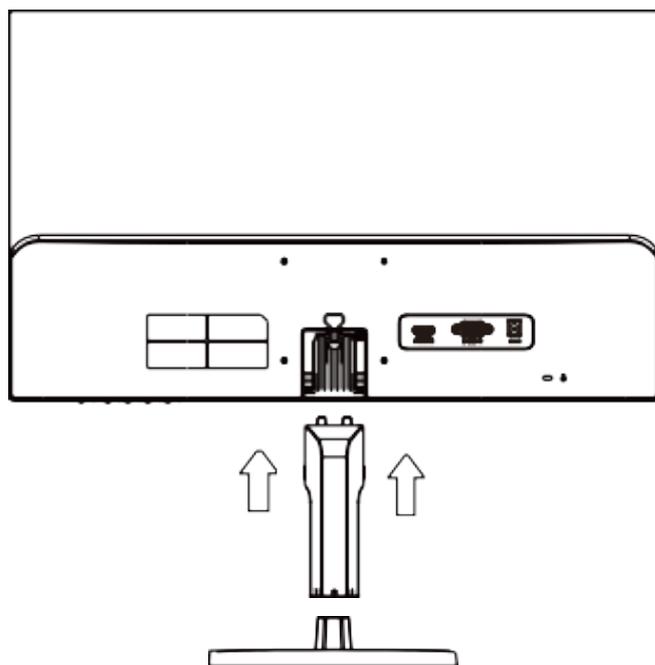
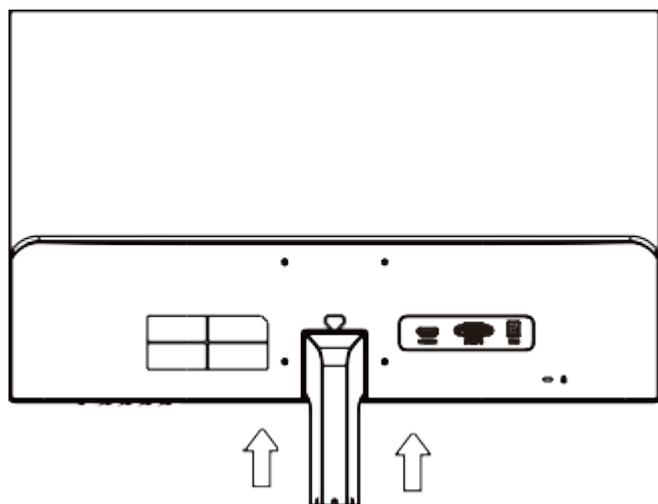


図 4.4.5 設定リセット

ブラケットベースの取付



ブラケットベースの取外し

